

ツールの名称	BEMS データ可視化ツール
開発者の氏名	渡邊 剛
開発者の所属	N T Tファシリティーズ
ターゲットとする機器/システム	BEMS
ツールの分類	測定、情報/データ、データ処理/表示、モデル、シミュレーション

ツール開発の背景・目的

効率的にコミショニングを行うためには、一貫した情報収集管理と分析評価が重要である。運用段階における情報管理・評価ツールとして BEMS が有効であると考えられている。近年では、BEMS のオープン化・高機能化が進んでいるが、その性能を十分に発揮できていない。特に計測したデータの可視化や分析・評価の方法は BEMS 利用のための基本であるにも関わらず、それを解説し、支援するツールは存在しない。そこで、BEMS データの可視化および分析評価を行うために留意すべき点や、具体的な手法について解説した文書ツールを作成する。

ツールの機能

コミショニングの対象や目的に応じて、必要とする計測ポイント、評価指標、BEMS データの可視化方法などについて整理・解説する。

Cx プロセスの中でのツールの位置づけ、使われ方

設計段階における BEMS ポイントリスト作成、BEMS 画面の設計時、運用段階のデータ分析評価時における指針として活用する。

Cx プロセスにおけるユーザ（誰が使い、誰に結果を渡すか）

設計者、運転管理者が使用する。BEMS 品質の均一化、作業の効率化に寄与する。

Cx プロセスにおけるツール適用のメリット

性能評価のための可視化や評価指標を明確化することで、BEMS のデータ収集の目的が明確化し、定量的な Cx が可能となる。

実行環境

特になし

操作性、ユーザインターフェイス

特になし

必要なデータの形式、管理方法

特になし

ツールの検証、ケーススタディ

コミショニング委員会・機能性能試験小委員会にて試行を実施していただいた。